

第8分会  
**特別支援教育**

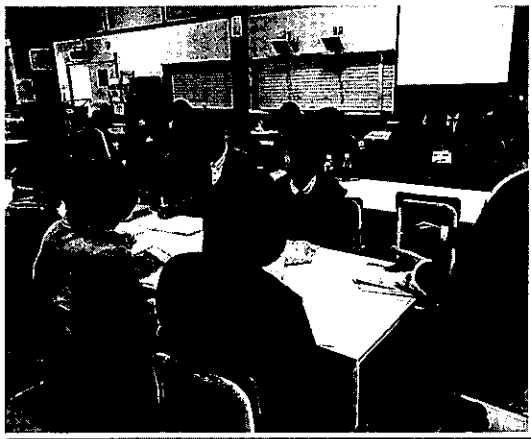
「最新の特別支援教育の動向」を  
知ろう！

1 講義「協働で支える特別支援教育」

講師の小杉真一郎氏から、最新の特別支援教育の動向を、全国と福井県の現状や課題を中心に、詳細な資料をもとに教えていただいた。参加者からは、豊富な内容とわかりやすい説明に感謝の言葉が寄せられた。

2 事例研究および発表、講評

参加者を7グループに分け、様々な事例を提示し、実際の学校や家庭でどのように対応すると良いか意見交換した。最後の講評で、現場で生かせる対処法を教えてください、とでも参考になった。



第9分会  
**教科(国語)**

「短歌をよむ」

「その瞬間の思いをこぼしに結晶させる」



紺野万里先生に、「短歌作りの基礎

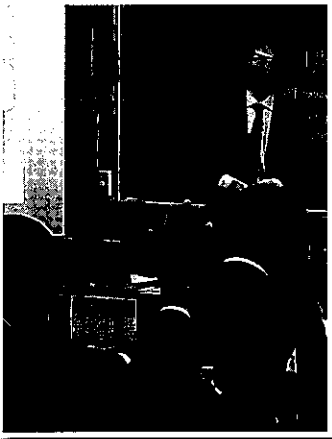
のキノ」をご指導していただいた。国語の教材で扱う短歌について、万葉集以前からある長い歴史と、だからといって身構える必要はない自由なものであると教えていただいた。その後、参加者はペアをつくらせて、上の句は自分がつくり、下の句は相手の上の句につづくものをつくるなど、想像力と創造力をフルに活用した活動をした。最後に、歌会をして互いに講評を述べ合い、和やかなうちに終わった。

第10分会  
**教科(算数)**

体験しよう！考えよう！

「算数科における「深い学び」とは」

講師に、筑波大学附属小学校教諭、森本隆史さんを迎え、算数科における「深い学び」について学んだ。森本先生は常に子どもたちが「笑顔」で取り組める授業を行っており、参加者が「笑顔」になる模擬授業が行われた。内容は、小学1、2年生でも取り組めるような四則演算を使った「数の世界」であったが、大人でも悩んだり驚いたりする不思議な数の仕組みがあふれていた。「あ、そうか！」と参加者は口々につぶやき、夢中で問題を解く姿が見られた。感想には、「子どもの気持ちが見分かった」「数の世界には、楽しくなる発見があった」「話したくなる、説明したくなる、書きたくなるような授業を目指したい」などがあり、とても有意義な時間であった。



第11分会  
**今日的課題研修**

LGBTsを知り、自分にできることを考えよう

「一人一人が自分らしく幸せに生きるために」



日本LGBT協会の代表理事を講師に迎え、前半の講演では、講師が当事者ということで、実際に体験されたことも話してくださいだったので、LGBTsへの理解が深まり、「自分らしく生きる」ことについて考えさせられた。後半は、学校で相談しやすい環境をつくるにはどうしたらよいかというテーマでグループ別協議を行った。理解してくれる人がいるという安心感があれば相談できるようになるので、性的マイノリティについて教職員が正しく理解し、子どもたちにも理解させることが大切だということがあった。